



広域化による相互扶助体制の強化

やまだごかむら

山田五ヶ村地域農地・水・環境保全管理組織（秋田県湯沢市）

ゆざわし

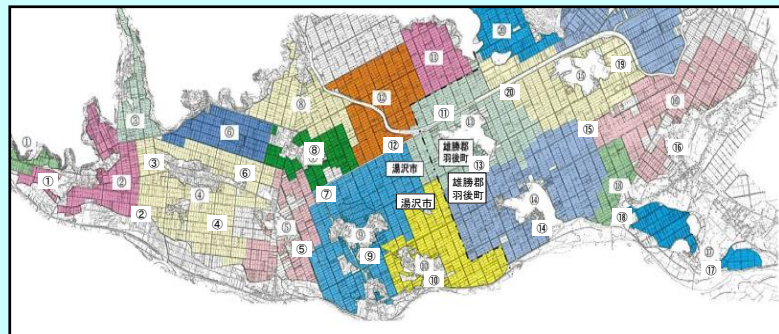
- 当地区では昭和46年から平成3年にかけて県営ほ場整備事業による整備が行われ、水系単位を基本として農業水利施設の保全管理を実施してきた。
- 規模が小さく高齢化が進行している活動組織では事務処理が困難となり、農地・水保全管理支払の第2期対策の申請を見合わせることも考えていたが、広域化することにより事務の簡素化が図られ、活動の継続が可能となった。
- また、農地・水・環境保全管理協定運営委員会（現制度における広域協定運営委員会）を設立することで地区間の扶助体制が強化され、個別地区の問題についての助言や他地区における水路の泥上げ等の手伝いを実施している。

【地区概要】

- ・取組面積 1,262ha(田 1,262ha)
- ・資源量
開水路 401.0km、農道 149.6km
- ・主な構成員
農業者、自治会、土地改良区
- ・交付金 約72百万円(H29)

農地維持支払
資源向上支払(共同、長寿命化)

活動組織の広域化



番号	活動組織
①	田ノ沢環境をまもる会
②	緑野清流環境保全会
③	田郷清流の里地域資源保全隊
④	萬古清風地域資源保全隊
⑤	田園創造の愛宕会
⑥	清流の郷堂ヶ沢地域資源保全隊
⑦	中屋敷環境保全会
⑧	勇水会
⑨	天地友情地域資源保全隊
⑩	貴船の郷地域資源保全隊
⑪	地域保全 新緑銀山会
⑫	白山豊稔の里保全会
⑬	紅梅団の里地域資源保全隊
⑭	貝沢本郷地域資源保全隊
⑮	野の郷地域資源保全隊
⑯	鳥居四ッ堰保全会
⑰	緑の風の京塚保全会
⑱	掬ノ上地域資源保全隊
⑲	床舞の里保全会
⑳	床舞eenグループ30

広域化前（20組織）

- 規模が小さい組織では、事務処理が困難である等の理由により活動取り止めのおそれがあったことから、土地改良区のサポートを受けながら活動組織の広域化を実施。これにより活動の継続が可能となった。

広域化の効果



水路の泥上げ



景観形成

- 農地・水・保全管理協定運営委員会が地区をまとめることで扶助体制が強化され、活動が効率的に行えるようになった。
 - ・他地区の水路の泥上げを手伝う
 - ・個別地区の問題について他地区が助言
 - ・個別地区で行っていた事務処理を運営委員会が一括で行うことにより、共同活動に専念することが可能